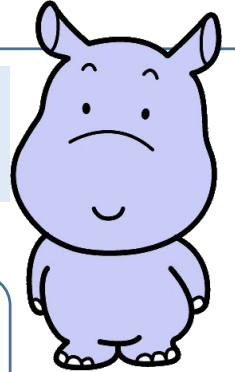


学習のめあて

下水道を支えているしごとと人について学んでみよう

かばのだいちゃんが、生活に身近な下水道についてせつ明してくれます。だいちゃんの話をよく聞いて、「水さい生センターのしごと」について、わかったことをまとめましょう。



かばのだいちゃん



()内の正しいほうに○を付けてね

370万人が住んでいるよこはま市では、1日に(150万・300万)立方メートルの水がながれている。

水さい生センターは毎日、(24時間)朝9時から夕方5時まで下水しよ理をしているんだ。

もちろん(台風・きり)なんかが来たらおおいそがし。まちを(しん水・火事)から守るためがんばってるよ

「下水道」にたずさわる人はどのようなしごとをしているのでしょうか。しらべましょう。また、そのしごとが社会にどのようにやく立っているか、考えましょう。

- センターのなかで働く (①機械を動かしたり、点検したりする、②水質を管理する)
 - 下水管や施設を作る人。その計画をたてる
 - 水をきれいにするために、電力や機械、薬品をつくる
 - 下水道の工事をしたり、修理する
- 下水道をよりたくさんの方が、いつでもかならず使えるように協力している

社会には、人のやくに立つしごとが数多くあります。みなさんはどんな人のためにはたらかたいでしょうか。そのしごとのやくわりや目てきをまとめましょう。また、そのしごとをするためにどんなぎじゅつやのう力、こせいをみがくとよいですか。思いつかない場合には、そうじなどの当番や係活どうなど、クラスやクラブ活どう、家庭内での自分の役わりについて、それをせつ明し、だれのやくに立っているか、まとめましょう。

(いずれも一例です)

- バスや鉄道などの運転をする人 (*交通関連)
- びょういんやほけんじょ (*医療関係者)
- 工場で作る (*製造業)、物を運ぶ (*流通業)
- けいさつやしょうぼうしょ (*防災、警察関連)
- ホテルやりょかん、レストランなど (*観光、飲食業)
- お米ややさい、牛などを育てたり魚を捕る (*農業等)
- テレビやしんぶん (*マスコミなど)

下水道では水の
ちょうさもするよ

